

J. S. Bach

Aufführung in japanischer Sprache

Matthäus-Passion BWV 244

創立 50 周年記念公演

BACH-CHOR, TOKYO Das 50-jährige Jubiläum [3] 108. Regulärkonzert

東京バッハ合唱団

第108回定期演奏会

バッハ 4 大合唱作品[日本語]連続演奏 [3]

J. S. バッハ [日本語演奏]

マタイ受難曲

鏡 貴之(エヴァンゲリスト/テノール) 渡邊 明(イエス/バス)
光野孝子(ソプラノ) 佐々木まり子(アルト) 鳥海 寮(テノール) 藪西正道(バリトン)
草間美也子(オルガン) 東京カンタータ室内管弦楽団(管弦楽)
東京バッハ合唱団(合唱) 東京バッハ児童合唱団(ソプラノリピーター)

大村恵美子(指揮/訳詞)

KAGAMI TAKAYUKI, Tenor/Evangelist WATANABE AKIRA, Baß/Jesus
MITSUNO TAKAKO, Sopran SASAKI MARIKO, Alt TORIUMI TSUKASA, Tenor YABUNISHI Masamichi, Bariton
KUSAMA MIYAKO, Orgel
TOKYO CANTATA CHAMBER ORCHESTRA BACH-CHOR, TOKYO TOKYO BACH KNABEN CHOR

OHMURA EMIKO, Leitung/Übersetzung

2013 年 3 月 30 日(土) 14:00 開演 (開場 13:00, 終演 17:30 予定)
Samstag, 30. März 2013, 14:00 Uhr

紀尾井ホール Kioi Hall

(四ツ谷, 赤坂見附等にて下車, ウラ面地図参照)

【入場料】 前売り 4500 円, 当日 5000 円 (全席自由席) Eintrittspreis: ¥4500 Vorverkauf, ¥5000 Tageskarte

【チケット取扱い】 東京バッハ合唱団事務局 または チケットぴあ [電話] 0570-02-9999 (Pコード 186-038) <http://pia.jp/t>
紀尾井ホールチケットセンター [電話] 03-3237-0061 (営業時間 10:00-18:00 日祝休)

【チケット申込み/問合せ】 合唱団事務局 [電話] 03-3290-5731 [FAX 専用] 03-3290-5732 (裏面に申込みフォーム)

[Eメール] office@bachchor-tokyo.jp [ホームページ] <http://bachchor-tokyo.jp/>

【主催】 東京バッハ合唱団
BACH-CHOR, TOKYO



【後援】 ドイツ連邦共和国大使館
Botschaft der Bundesrepublik Deutschland Tokyo





鏡 貴之(テノール)

東京芸術大学大学院修士課程独唱専攻修了。主にオラトリオ、宗教曲のソリストとして活躍中。バッハの作品では多数のソロを務め、活動の中心になっている。2007年当合唱団《マタイ受難曲》エヴァンゲリストでは絶賛を博す。BCJ声楽メンバー。2012年9月、第4回東京国際声楽コンクールにて第1位・東京新聞賞・審査員特別賞受賞。



渡邊 明(バス)

東京芸術大学音楽学部卒業、同大学院修了。1968-72年ドイツ芸術交流会給費留学生としてベルリン音楽大学に留学。国内での活動のほか、パリ各地とドイツ・プレーメン芸術大学等での「冬の旅」リサイタル、ハンブルク・ニコライ教会での「ヨハネ受難曲」出演など欧米各地、またアジア各地と、広く活躍。フェリス女学院大学名誉教授。二期会会員。



光野孝子(ソプラノ)

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。オペラでの活躍に加え、宗教曲においてもバッハを中心に多くの作品でソリストを務めている。2006年ライブツィヒ・バッハフェスティヴァルに、樋口隆一指揮・明治学院バッハアカデミー合唱団のソリストとして出演、好評を博す。当合唱団の声楽指導のほか、合唱指揮の分野でも活躍中。二期会会員。



佐々木まり子(アルト)

東京芸術大学大学院修士課程独唱科修了。デットモルト北西ドイツ音楽大学留学。帰国後、国内各地にてバッハ作品を中心に演奏活動を行っている。1993年ヴィンシャーメン指揮ドイツ・バッハソリスト「マタイ受難曲」ではソリストとして国内各地同行。現在岩手大学、東北大学各合唱団の発声指導のほか、合唱団指揮者としても活躍中。



鳥海 寮(テノール)

東京学芸大学芸術課程声楽専攻卒業、同大学院修士課程修了。大学院在学中よりオラトリオ、カンタータ等のソリストとして多くの合唱団、オーケストラと共演。特にバッハ作品が多く、柔らかい声と表現力は着実に深みを増している。合唱指揮者、ヴォイストレーナーとしても活躍。現在サレジオ小学校音楽科教諭。日本声楽発声学会会員。



藪西正道(バリトン)

東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。イタリアに留学。テルニ国際声楽コンクール優勝。フィレンツェ歌劇場新人オーディション第2位。「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールはじめ、レパートリーは50役を超える。「第九」「メサイヤ」「レクイエム」「天地創造」「テレジア・ミサ」「戴冠ミサ」など宗教曲公演にも数多く出演。

東京バッハ合唱団 1962-2012 創立50周年

教会カンタータを中心にバッハの作品のみを演奏し、研究する団体として1962年大村恵美子の呼びかけで組織された。国内では日本語上演を原則とする。ライブツィヒ聖トマス教会（日本の市民合唱団の初公演、1983年）など、ドイツを中心に海外巡演も行う。



東京カンタータ室内管弦楽団

東京バッハ合唱団のカンタータ連続演奏の企画に共鳴して共演を志した第一線演奏家グループ。声楽パートとともに練習を重ね、カンタータ本来のあり方に沿った奏法を特色としている。一流オーケストラ、アンサンブル等の主要メンバーからなる。1979年以来30年を超える共演。

バッハ演奏、なぜ日本語か？

東京バッハ合唱団は、1962年設立いらい半世紀にわたり、わが国におけるバッハ演奏のパイオニアとして、教会カンタータを中心に多様なジャンルのバッハ合唱曲を紹介しつづけていますが、定期公演においては、われわれの母語である“日本語”による上演を原則としてきました。

なぜ日本語か？ それは私たちが日本語で考え、思い、感じているからです。言語の壁は、心のもっとも奥深いところでなされる芸術的共感を阻(はば)んでいますが、訳詞演奏は、精神そのものである母語によってその壁を超えてみようとする一つの試みにほかなりません。

バッハ音楽の精神的背景には、母語をとおして神と直接向き合おうとするルターの思想が色濃く反映されています。またバッハにいたって西洋音楽は、個々のテキストの意味を形象化し、あるいはテキストの背後の理念や情感に音の形を与えることにより、ラテン語やドイツ語といった特定の言語の制約を超越することに成功しました。ですからバッハ音楽の中にあつては、どの言語圏の人々も、安心して自分たちの母語に身をゆだねることができるのです。東京バッハ合唱団の日本語による演奏が、バッハ音楽の普遍性の証しとなることを確信しています。



大村恵美子(主宰/指揮/訳詞)

東京芸大卒業後、ストラズブル大学と音楽院に留学。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、1962年帰国とともに合唱団創立、本年50周年を迎えた。すでにバッハ宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成、順次刊行中。多くは自らの指揮で上演している。訳書「音楽の精神分析」(A・ミシエル)、著書「バッハの音楽的宇宙」、編著「バッハ コラール・ハンドブック」など多数。

■ 紀尾井ホールへの交通 (ホール電話 03-5276-4500)



- 四ツ谷駅(JR/丸の内線/南北線) 麹町口徒歩6分
- 麹町駅 2番出口(有楽町線)徒歩8分
- 赤坂見附駅 D出口(銀座線/丸の内線)徒歩8分
- 永田町駅 7番出口(半蔵門線/有楽町線)徒歩8分

東京バッハ合唱団創立50周年記念 バッハ4大合唱曲[日本語]連続演奏(2011-2014, 全5回)

- ① 《ロ短調ミサ曲》(日本語演奏初演) …… 2011年12月3日, 杉並公会堂〈終了〉
- ② 《クリスマス・オラトリオ》前半 + BWV 71 …… 2012年11月9日, 杉並公会堂〈終了〉
- ③ 《マタイ受難曲》 …… 2013年3月30日, 紀尾井ホール〈当公演〉
- ④ 《クリスマス・オラトリオ》後半 + BWV 76 …… 2013年12月7日, 杉並公会堂〈次回〉
- ⑤ 《ヨハネ受難曲》 …… 2014年4月予定〈次々回〉

合唱参加者募集:各パート若干名

- 練習曜日・時間・会場 (参加/見学 随時可)
- ◇土曜日 15:30-17:30 日本キリスト教団 荻窪教会 (JR/地下鉄「荻窪」駅南口から8分)
 - ◇月曜日 18:30-20:30 目白聖公会 (JR「目白」駅から5分)

【チケット申込み/問い合わせ/資料請求】東京バッハ合唱団事務局

【電話】03-3290-5731 【FAX】03-3290-5732 【Eメール】office@bachchor-tokyo.jp 【ホームページ】http://bachchor-tokyo.jp/

【チケット申込み】03-3290-5732 (Fax 専用)

第108回定期演奏会《マタイ受難曲》(2013/3/30, 紀尾井ホール)のチケットを申し込みます

前売り券:4500円(全席自由席)

枚数:	お名前:	Tel:	Mail:
お送り先ご住所:(〒)			

▲お支払い方法: チケットに郵便振替用紙を同封いたしますので、折り返し、枚数分をご近所の郵便局にてお振込みください。



Botschaft
der Bundesrepublik Deutschland
Tokyo

Grußwort

anlässlich des 50-jährigen Jubiläumskonzerts
des Bach-Chors Tokyo

Es freut mich außerordentlich, dass der Bach-Chor Tokyo in diesem Jahr sein 50-jähriges Jubiläum feiert. Der traditionsreiche Chor beschäftigt sich seit seiner Gründung im Jahre 1962 ausschließlich mit den Werken J.S. Bachs. Er blickt auf mehr als 200 Konzerte und zahlreiche Deutschlandreisen zurück. Seine Konzerte genießen breite Anerkennung und nehmen einen festen Platz im japanischen Konzertkalender ein.

Besonders hervorzuheben ist das große Engagement und die langjährige Arbeit der Dirigentin Emiko Ohmura, die den Bach-Chor Tokyo 1962 ins Leben gerufen und eine Vielzahl von Bachs Werken ins Japanische übertragen hat. Die Konzerte des Bach-Chors sind ein wichtiger Beitrag zur breiten Palette unseres musikalischen Austausches. Ich bin mir sicher, dass wir bei der weiteren Entwicklung der bereits heute schon engen musikalischen Bindungen zwischen unseren beiden Völkern auf dieses Fundament bauen können.

Das Jubiläumskonzert steht unter der Schirmherrschaft der Deutschen Botschaft, was uns mit Freude und Stolz erfüllt. Meine Anerkennung und mein Dank gilt den Künstlern und den Organisatoren dieses Jubiläumskonzerts, die mit viel Enthusiasmus und Engagement eine besondere musikalische Leistung zeigen. Allen Zuhörern wünsche ich einen großartigen Musikgenuss und den Musikern und Organisatoren viel Erfolg für das Konzert.

Pit Heltmann
Botschaftsrat
Leiter der Abteilung für Kultur und Öffentlichkeitsarbeit
Deutsche Botschaft Tokyo

ご挨拶

東京バッハ合唱団
創立 50 周年記念公演に寄せて

この度、東京バッハ合唱団が創立 50 周年を迎えられますことを大変うれしく思います。長い伝統を誇る同合唱団は、1962 年の創立以来、J. S. バッハの作品に専念し、200 回以上のコンサートと数多くのドイツ公演を開催されました。そのコンサートは幅広い評価を得ており、日本の演奏界において確固たる位置を占めております。

特筆すべきは、東京バッハ合唱団を 1962 年に創設され、バッハの作品を数多く日本語訳された指揮者・大村恵美子様 の多年にわたる多大なご功績です。同合唱団のコンサートは、音楽分野における日独交流の多彩さを支える大切な支柱であります。日独両国間の音楽の絆はすでに密接なものでありますが、これを礎として、今後なお一層緊密なものになると確信しております。

この度の創立 50 周年記念コンサートは、ドイツ連邦共和国大使館後援のもとで開催されますが、このことを喜ばしくかつ誇りに思います。本公演で多くの熱意とご尽力をもって格別の音楽を披露される、出演の皆様と主催者の方々に賞賛と感謝の言葉を捧げます。ご来場の皆様には、素晴らしい音楽を満喫されますことを願いますとともに、演奏者と主催者の皆様にはコンサートのたいなるご成功をお祈りしております。

ドイツ連邦共和国大使館
広報文化部長
ピット・ヘルトマン